

# 宮城県地域公共交通活性化協議会

平成23年4月1日事業開始

事業名：令和7年度地域間幹線系統

## 生活交通確保維持改善計画

### 目的・必要性

幹線バス系統(以下「対象系統」という。)は、地域の交通結節点である鉄道駅を発着し、沿線には大学や複数の高校等の教育施設、地域の中核的な医療機関、大型商業施設等があることから、鉄道を利用する学生や、通院する高齢者等の足として定着しており、社会生活を送るためには交通手段の維持・確保が極めて重要である。

しかしながら、県内では、人口減少の進行や少子高齢化等により、利用者数の減少が続き、運行事業者が単独で路線を維持することは困難な状況にあることから、国庫補助金を活用することにより、結節する鉄道との連携等で利便性の向上を図りながら、運行の維持・確保を図ることを目的として、事業を行うものである。

## 評価項目

### 基礎データ

合併状況：14市20町1村 ※うち10市町は、平成15年度から21年度にかけ45市町が合併し、誕生

人口：221.4万人(令和7年3月31日現在)

面積：7,282.30km<sup>2</sup>(令和7年7月1日現在)

高齢化率：29.7%(令和7年)

協議会開催数：協議会3回、分科会74回(令和6年度)

## 事業実施主体及び補助対象系統数・車両数

### 【系統数】

・(株)ミヤコーバス 16系統

・宮城交通(株) 1系統

### 【車両減価償却費車両数】

・(株)ミヤコーバス 26台(6台)

・宮城交通(株) 3台(0台)

※車両減価償却費車両数の( )は、当該年度に購入した車両数(内数)

## 定量的な目標・効果

### 【目標】

・県内の地域間幹線系統について、国庫補助金を活用することにより、継続的な路線の維持確保と、広域的な交通ネットワークの形成を図る。

・人口減少や新型コロナウイルス感染症拡大の影響の長期化等により、対象となる系統では利用者の減少の回復に時間を要しているが、継続的な路線の維持確保を図るため、各系統の年間輸送人員及び運送収入について、前年度比1%以上増加させることを目標とする。

### 【効果】

地域間幹線系統を維持することにより、地域の高校生や高齢者といったマイカーを利用できない住民の生活にとって必要不可欠な交通手段が確保される。

また、結節する鉄道との連携等により、地域内外の交流人口の増加や地域活性化が期待される。

## 前回の事業評価結果及びその反映状況

### 【前回(2事業年度前)の事業評価結果】

・事業者、沿線市町村と連携した取組が行われていることは評価。引き続き利用促進に関する取組を進めること。

・引き続き路線ごとに利用者の増加、減少原因を分析すること。特にICカードデータが活用可能な路線については、データを活かした分析を検討すること。

・観光利用の促進に係る利用者確保の取組についても、協議・検討を継続すること。

### 【事業評価結果の反映状況】

・事業者、沿線市町村と連携し、高校生への時刻表の配布や公共交通利用促進デーなどのモビリティマネジメント(MM)を実施した。

・通学や免許返納者等の移動を支援するための助成制度の実施などの利用促進に関する取組を実施した。

・ICカードデータが活用可能な路線を対象としたデータ分析を実施した。

・企画乗車券の実施等の観光利用の促進に資する取組を実施した。

## 評価項目

## 改善のための事業実施の概要、実施状況

## 【事業実施の適切性】

全ての系統において、計画どおり実施された。

## 【改善のための事業実施の概要】

- ①沿線高校の新入生に時刻表を配布
- ②乗降データの分析
- ③市町村の施策（通学や免許返納者等への移動支援等）との連携
- ④沿線イベント時のバス利用の呼びかけ
- ⑤観光施策（企画乗車券等）との連携

## 【改善のための事業の実施状況等】

- ①沿線高校と打合せを行い、時刻表の配布を行った。
- ②ICカードデータが活用可能な路線を対象にデータ分析を実施し、沿線市町村と共有した。
- ③一部の沿線市町村で高校生を対象とした通学定期等への補助や運転免許自主返納者も含めた高齢者に対する運賃割引、補助を実施した。
- ④宮城オルレの交通手段としてバスをHP等でPRしたほか、沿線市町村でのイベント開催時にチラシ等でバス利用の呼びかけを行った。
- ⑤インバウンド対策である企画乗車券「TOHOKU HIGHWAY BUS TICKET」や仙台MaaSでの「休日一日乗車券」の販売を継続した。

## 目標・効果の達成状況

## 【目標・効果達成状況】

A評価：7系統 B評価：7系統 C評価：3系統

・生活利用者を取り込むためのダイヤ調整、MM及び割引制度等を計画通り実施したことや観光宿泊者数の増加等を背景として、利用者の維持・増加に繋がった路線もある一方で、主な利用者層である高校生・大学生の減少や事業実施期間中の運賃値上げなどの複合的な要因により利用者が減少した路線も確認された。  
・引き続き、ICカードデータ等を活用した分析を進め、課題を踏まえた路線の最適化や利用促進策の実施により、住民の足の確保を図る。

## 【目標（指標）及び評価基準】

1. 運行回数が計画通りであったか
2. 前年度の年間輸送人員を維持しているか により評価

## ※評価の判定基準

- ・A ⇒ 年間輸送人員の前年度比について、101%以上
- ・B ⇒ 年間輸送人員の前年度比について、80%以上101%未満
- ・C ⇒ 年間輸送人員の前年度比について、80%未満

## 事業の今後の改善点

- ・全ての系統において、市町村の施策と連携しながら、通学、通院等に合わせたダイヤの設定で利便性を向上させるとともに、バス利用の周知を図り、利用者の増加を目指す。
- ・インバウンド対策や、沿線の観光資源を活用した企画乗車券等を検討し、観光利用の誘客による更なる利用者の増加を目指す。
- ・乗降データを活用した路線の分析を継続して行う。

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 8年 月 日

協議会名: 宮城県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等 ②事業概要	改善事業の概要	③前回(2事業年度前)(又は類似事業) の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(株)ミヤコーバス  No.1 白石遠刈田線 (白石蔵王駅～メルキュー ル宮城蔵王)	①高校新生生に対するバス 通学の周知 (追加)企画乗車券の販売継続 (追加)一部便での交通系IC 決済の導入	【前回(2事業年度前)の事業評価結果】 ・目標を達成した。 ・今後も高校の登下校に合わせたダイヤ 調整及びMMを実施する。 【事業評価結果の反映状況】 ・計画への反映の有無:有 ・MMによる利用促進を実施した。 ・インバウンド向け企画乗車券の販売を継 続した。 ・インバウンド向けに一部の便で交通系IC カードに対応し、利便性の向上と乗降時 間の短縮を図った。	A 計画通り適切に実施された。  生活利用者を取り込むため のMMについて計画どおり実 施した。また、「蔵王」への観 光の足にも利用される路線 であることから、インバウンド 向け企画乗車券などの利用 促進策も実施し、利用者数 の維持・増加に一定程度の 効果があったと考えられる が、運賃値上げ等の複合的 な要因により輸送量は減少 した。	B 運行回数は計画通り、輸送 人員は前年比減少も、運送 収入は対前年度比増加。 輸送人員:前年比98.4% 運送収入:前年比113.0%  ※白石遠刈田線については IC未導入路線であることか ら、サンプル調査で輸送人員 等を算出しており、調査日の 天候等により年間の数値に 大きな差が生じ得ることに注 意すること。	・今後も通学等のニーズに合 わせたダイヤ調整や学生等 へのMM(バス利用呼びかけ) を行う。 ・インバウンド向け企画乗車 券(TOHOBU HIGHWAY BUS TICKET)を継続実施する。
(株)ミヤコーバス  No.2 川崎線 (大河原駅前～川崎)	①高校新生生に対するバス 通学の周知 ②利用状況の分析	【前回(2事業年度前)の事業評価結果】 ・目標を達成した。 ・今後も高校の登下校に合わせたダイヤ 調整及びMMを実施する。 【事業評価結果の反映状況】 ・計画への反映の有無:有 ・MMによるによる利用促進を実施した。	A 計画通り適切に実施された。  生活利用者を取り込むため のMMについて計画どおり実 施し、利用者数の維持・増加 に一定程度の効果があった と考えられるが、主な利用層 である沿線高校の生徒数が 減少(R6:227人、R7:192人)し たことなどから輸送人員は減 少した。	B 運行回数は計画通り、輸送 人員は前年比減少も、運送 収入は対前年度比増加。 輸送人員:前年比83.2% 運送収入:前年比104.5%	・今後も通学等のニーズに合 わせたダイヤ調整や学生等 へのMM(バス利用呼びかけ) を行う。 ・乗降データの分析を継続実 施する。

①補助対象事業者等 ②事業概要	改善事業の概要	③前回(2事業年度前)(又は類似事業) の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(株)ミヤコーバス  No.3 川崎線 (大河原駅前～村田営業所)	①高校新生生に対するバス通学の周知 ②利用状況の分析	【前回(2事業年度前)の事業評価結果】 ・目標を達成した。 ・今後も高校の登下校に合わせたダイヤ調整及びMMを実施する。 【事業評価結果の反映状況】 ・計画への反映の有無:有 ・MMによる利用促進を実施した。	計画通り適切に実施された。  A 生活利用者を取り込むためのMMについて計画どおり実施し、利用者数の維持・増加に一定程度の効果があったと考えられるが、主な利用層である沿線高校の生徒数が減少(R6:227人、R7:192人)したことなどから輸送人員は大幅に減少した。	C 運行回数は計画通り、輸送人員は前年比減少も、運送収入は対前年度比増加。 輸送人員:前年比79.2% 運送収入:前年比116.2%	・今後も通学等のニーズに合わせたダイヤ調整や学生等へのMM(バス利用呼びかけ)を行う。 ・乗降データの分析を継続実施する。
(株)ミヤコーバス  No.4 利府線 (塩釜営業所～しらかし台)	①高校新生生に対するバス通学の周知 ②利用状況の分析 ③運転免許自主返納に対する割引の検討	【前回(2事業年度前)の事業評価結果】 ・目標を達成した。 ・今後も高校の登下校に合わせたダイヤ調整及びMMを実施する。 【事業評価結果の反映状況】 ・計画への反映の有無:有 ・MMによる利用促進を実施した。	計画通り適切に実施された。  A 生活利用者を取り込むためのMM及び割引制度について計画どおり実施し、利用者数の維持・増加に一定程度の効果があったと考えられるが、運賃値上げ等の複合的な要因により輸送量は減少した。	B 運行回数は計画通り、輸送人員は前年比減少も、運送収入は対前年度比増加。 輸送人員:前年比91.4% 運送収入:前年比113.3%	・今後も通学等のニーズに合わせたダイヤ調整や学生等へのMM(バス利用呼びかけ)を行う。 ・乗降データの分析を継続実施する。 ・割引制度等の利用促進策を継続実施する。 ・利府町版mobiを運行する町との情報連携を引き続き実施し、適切な機能分担により双方の利用者の増加を図る。
(株)ミヤコーバス  No.5 ゴルフ場線 (マリンゲート塩釜～千賀の台西)	①JR、住民バス等とのダイヤ調整、広報 ②沿線イベント時のバス利用呼びかけ ③運転免許自主返納に対する割引の検討 (追加)高校新生生に対するバス通学の周知	【前回(2事業年度前)の事業評価結果】 ・目標を達成した。 ・今後も高校の登下校に合わせたダイヤ調整及びMMを実施する。 【事業評価結果の反映状況】 ・計画への反映の有無:有 ・ダイヤの改善及びMMによる利用促進を実施した。	計画通り適切に実施された。  A 生活利用者を取り込むためのダイヤ調整、MM及び割引制度について計画どおり実施し、利用者数の維持・増加に一定程度の効果があったと考えられるが、運賃値上げ等の複合的な要因により輸送量は減少した。	B 運行回数は計画通り、輸送人員は前年比減少も、運送収入は対前年度比増加。 輸送人員:前年比97.5% 運送収入:前年比110.5%	・今後も通学等のニーズに合わせたダイヤ調整や学生等へのMM(バス利用呼びかけ)を行う。 ・割引制度等の利用促進策を継続実施する。

①補助対象事業者等 ②事業概要	改善事業の概要	③前回(2事業年度前)(又は類似事業) の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(株)ミヤコーバス  No.6 汐見台団地線 (多賀城駅前～菖蒲田)	①JR、住民バス等とのダイヤ調整、広報	【前回(2事業年度前)の事業評価結果】 令和7事業年度からの新規路線 【事業評価結果の反映状況】 同上	A 計画通り適切に実施された。  生活利用者を取り込むためのダイヤ調整について計画どおり実施し、利用者数の維持・増加に一定程度の効果があったと考えられるが、運賃値上げ等の複合的な要因により輸送量は減少した。	B 運行回数は計画通り、輸送人員は前年比減少も、運送収入は対前年度比増加。 輸送人員：前年比95.3% 運送収入：前年比115.5%	・今後も通学等のニーズに合わせたダイヤ調整や学生等へのMM(バス利用呼びかけ)を行う。 ・割引制度等の利用促進策を継続実施する。
(株)ミヤコーバス  No.7 吉岡線 (泉中央駅～道下)	①高校新入生に対するバス通学の周知 ②通学フリーパスの実施 ③運転免許自主返納者に対する割引の検討	【前回(2事業年度前)の事業評価結果】 ・目標を達成した。 ・今後も高校の登下校に合わせたダイヤ調整及びMMを実施する。 【事業評価結果の反映状況】 ・計画への反映の有無：有 ・MMによる利用促進を実施した。	A 計画通り適切に実施された。  生活利用者を取り込むためのMM及び「せんだいバスFREE+」等の割引制度を実施し利用者が増加した。	A 運行回数は計画通り、輸送人員・運送収入ともに対前年度比増加。 輸送人員：前年比101.3% 運送収入：前年比123.9%	・今後も通学等のニーズに合わせたダイヤ調整や学生等へのMM(バス利用呼びかけ)を行う。 ・「せんだいバスFREE+」を含む各種割引制度等の利用促進策を継続実施する。
(株)ミヤコーバス  No.8 色麻線 (古川駅前～色麻町役場)	①高校新入生に対するバス通学の周知 ②沿線イベント時のバス利用呼びかけ ③運転免許自主返納者に対する割引の検討 (追加)通学フリーパスの実施	【前回(2事業年度前)の事業評価結果】 ・主な利用層である高校生の減少等を背景に目標を達成できなかった。 ・今後も高校の登下校に合わせたダイヤ調整及びMMを実施する。 ・利用状況の分析を行う。 ・通期助成の実施など新たな利用促進策の検討する。 【事業評価結果の反映状況】 ・計画への反映の有無：有 ・MMによる利用促進を実施した。 ・令和7年4月から加美町で「通学定期助成制度」を創設した。	A 計画通り適切に実施された。  生活利用者を取り込むためのMM及び「通学定期助成制度」等の割引制度を実施し利用者が増加した。	A 運行回数は計画通り、輸送人員・運送収入ともに対前年度比増加。 輸送人員：前年比104.6% 運送収入：前年比109.5%  ※色麻線についてはIC未導入路線であることから、サンプル調査で輸送人員等を算出しており、調査日の天候等により年間の数値に大きな差が生じ得ることに注意すること。	・今後も通学等のニーズに合わせたダイヤ調整や学生等へのMM(バス利用呼びかけ)を行う。 ・「通学定期助成制度」を含む各種割引制度等の利用促進策を継続実施する。

①補助対象事業者等 ②事業概要	改善事業の概要	③前回(2事業年度前)(又は類似事業) の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(株)ミヤコーバス  No.9 石巻免許センター線 (石巻駅前～日赤病院)	①沿線イベント時のバス利用呼びかけ ②運転免許自主返納者に対する割引の検討	【前回(2事業年度前)の事業評価結果】 ・目標を達成した。 ・今後も自治体と連携した各種取り組みを継続し、バス利用の周知を図る。 【事業評価結果の反映状況】 ・計画への反映の有無:有 ・自治体と連携しMM(公共交通利用促進デー)や各種引制度等を実施した。	A 計画通り適切に実施された。  生活利用者を取り込むためのMM及び割引制度について計画どおり実施し、利用者が増加した。	A 運行回数は計画通り、輸送人員・運送収入ともに対前年度比増加。 輸送人員:前年比105.0% 運送収入:前年比119.5%	・今後も自治体と連携した取り組み等を継続し、収支等改善とバス利用の促進を図る。
(株)ミヤコーバス  No.10 河南線 (石巻駅前～河南総合支所)	①沿線イベント時のバス利用呼びかけ ②運転免許自主返納者に対する割引の検討	【前回(2事業年度前)の事業評価結果】 ・主な利用層である高校生の減少等を背景に目標を達成できなかった。 ・今後も自治体と連携した各種取り組みを継続し、バス利用の周知を図る。 ・利用状況の分析を進める。 【事業評価結果の反映状況】 ・計画への反映の有無:有 ・自治体と連携しMM(公共交通利用促進デー)や各種引制度等を実施した。	A 計画通り適切に実施された。  生活利用者を取り込むためのMM及び割引制度について計画どおり実施し、利用者数の維持・増加に一定程度の効果があったと考えられるが、運賃値上げ等の複合的な要因により輸送量は減少した。	B 運行回数は計画通り、輸送人員は前年比減少も、運送収入は対前年度比増加。 輸送人員:前年比95.8% 運送収入:前年比114.6%	・今後も自治体と連携した取り組み等を継続し、収支等改善とバス利用の促進を図る。
(株)ミヤコーバス  No.11 石巻専修大学線 (石巻駅前～飯野川)	①沿線イベント時のバス利用呼びかけ ②運転免許自主返納者に対する割引の検討	【前回(2事業年度前)の事業評価結果】 ・目標を達成した。 ・今後も自治体と連携した各種取り組みを継続し、バス利用の周知を図る。 【事業評価結果の反映状況】 ・計画への反映の有無:有 ・自治体と連携しMM(公共交通利用促進デー)や各種引制度等を実施した。	A 計画通り適切に実施された。  生活利用者を取り込むためのMM及び割引制度について計画どおり実施し、利用者数の維持・増加に一定程度の効果があったと考えられるが、輸送量は大幅に減少した。運賃値上げ等の影響や主な利用者である石巻専修大学生の減少についても影響があったものと考えられるが、学生数の減少幅を上回る利用者減になったため、継続して要因分析を実施する。	C 運行回数は計画通り、輸送人員は前年比減少も、運送収入は対前年度比増加。 輸送人員:前年比77.2% 運送収入:前年比120.3%	・今後も自治体と連携した取り組み等を継続し、収支等改善とバス利用の促進を図る。

①補助対象事業者等 ②事業概要	改善事業の概要	③前回(2事業年度前)(又は類似事業) の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(株)ミヤコーバス No.12 河北線 (石巻あゆみ野駅～飯野川)	①沿線イベント時のバス利用呼びかけ ②運転免許自主返納者に対する割引の検討	【前回(2事業年度前)の事業評価結果】 ・主な利用層である高校生の減少等を背景に目標を達成できなかった。 ・今後も自治体と連携した各種取り組みを継続し、バス利用の周知を図る。 ・今後も高校・大学の登下校に合わせたダイヤ調整及びMMを実施する。 【事業評価結果の反映状況】 ・計画への反映の有無:有 ・自治体と連携しMM(公共交通利用促進デー)や各種引制度等を実施した。	A 計画通り適切に実施された。 生活利用者を取り込むためのMM及び割引制度について計画どおり実施し、利用者が増加した。	A 運行回数は計画通り、輸送人員・運送収入ともに対前年度比増加。 輸送人員:前年比102.6% 運送収入:前年比120.1%	・今後も自治体と連携した取り組み等を継続し、収支等改善とバス利用の促進を図る。
(株)ミヤコーバス No.13 鮎川線 (石巻駅前～鮎川港)	①沿線イベント時のバス利用呼びかけ ②運転免許自主返納者に対する割引の検討	【前回(2事業年度前)の事業評価結果】 ・主な利用層である高校生の減少等を背景に目標を達成できなかった。 ・今後も自治体と連携した各種取り組みを継続し、バス利用の周知を図る。 ・今後も高校・大学の登下校に合わせたダイヤ調整及びMMを実施する。 【事業評価結果の反映状況】 ・計画への反映の有無:有 ・自治体と連携しMM(公共交通利用促進デー)や各種引制度等を実施した。	A 計画通り適切に実施された。 生活利用者を取り込むためのMM及び割引制度について計画どおり実施し、利用者が増加した。	A 運行回数は計画通り、輸送人員・運送収入ともに対前年度比増加。 輸送人員:前年比109.5% 運送収入:前年比118.3%	・今後も自治体と連携した取り組み等を継続し、収支等改善とバス利用の促進を図る。
(株)ミヤコーバス No.14 女川線 (石巻駅前～女川運動公園)	①沿線イベント時のバス利用呼びかけ ②運転免許自主返納者に対する割引の検討	【前回(2事業年度前)の事業評価結果】 ・目標を達成した。 ・今後も自治体と連携した各種取り組みを継続し、バス利用の周知を図る。 【事業評価結果の反映状況】 ・計画への反映の有無:有 ・自治体と連携しMM(公共交通利用促進デー)や各種引制度等を実施した。	A 計画通り適切に実施された。 生活利用者を取り込むためのMM及び割引制度について計画どおり実施し、利用者数の維持・増加に一定程度の効果があったと考えられるが、運賃値上げ等の複合的な要因により輸送量は減少した。	B 運行回数は計画通り、輸送人員は前年比減少も、運送収入は対前年度比増加。 輸送人員:前年比96.0% 運送収入:前年比113.5%	・今後も自治体と連携した取り組み等を継続し、収支等改善とバス利用の促進を図る。 ・乗降データの分析を行う。

①補助対象事業者等 ②事業概要	改善事業の概要	③前回(2事業年度前)(又は類似事業) の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(株)ミヤコーバス  No.15 蛇田線 (いしのまき元気いちば～ あゆみ野駅南)	①沿線イベント時のバス利用呼びかけ ②運転免許自主返納者に対する割引の検討	【前回(2事業年度前)の事業評価結果】 ・目標を達成した。 ・今後も自治体と連携した各種取り組みを継続し、バス利用の周知を図る。 【事業評価結果の反映状況】 ・計画への反映の有無:有 ・自治体と連携しMM(公共交通利用促進デー)や各種引制度等を実施した。	A 計画通り適切に実施された。  生活利用者を取り込むためのMM及び割引制度について計画どおり実施し、利用者が増加した。	A 運行回数は計画通り、輸送人員・運送収入ともに対前年度比増加。 輸送人員:前年比104.2% 運送収入:前年比119.7%	・今後も自治体と連携した取り組み等を継続し、収支等改善とバス利用の促進を図る。
(株)ミヤコーバス  No.16 御崎線 (気仙沼市立病院～御崎)	①沿線イベント時のバス利用呼びかけ (追加)デマンド交通との連携	【前回(2事業年度前)の事業評価結果】 ・引き続き、今後の路線のあり方について、関係機関で協議する。 【事業評価結果の反映状況】 ・計画への反映の有無:有 ・オルレを目的とした観光客が当該路線を利用しやすいよう自治体が運行するデマンド交通との連携を図った。	A 計画通り適切に実施された。  生活利用者を取り込むためのMMIについて計画どおり実施し、利用者数の維持・増加に一定程度の効果があったと考えられるが、輸送量は大幅に減少した。運賃値上げの影響や同区間を運行するデマンド交通との関連についても考慮しながら、継続して要因分析を実施する。	C 運行回数は計画通り、輸送人員・運送収入ともに対前年度比減少。 輸送人員:前年比65.1% 運送収入:前年比82.4%  ※御崎線についてはIC未導入路線であることから、サンプル調査で輸送人員等を算出しており、調査日の天候等により年間の数値に大きな差が生じ得ることに注意すること。  【参考】気仙沼市で把握している数値については、以下のとおり。今年度の評価についてはミヤコーバスから提出された上記数値に基づき実施する。 輸送人員:前年比93.3% 運送収入:前年比106.2%	・今後も自治体と連携した取り組み等を継続し、収支等改善とバス利用の促進を図る。 ・観光施策との連携(宮城オルレ等)により、利用者の増加を図る。

①補助対象事業者等 ②事業概要	改善事業の概要	③前回(2事業年度前)(又は類似事業) の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
宮城交通(株) ----- No.17 秋保(川崎)線 (仙台駅前～川崎)	①沿線イベント時にバス利用 呼びかけ ②通学フリーパスの実施	【前回(2事業年度前)の事業評価結果】 令和6事業年度からの新規路線 【事業評価結果の反映状況】 同上	計画通り適切に実施された。  生活利用者を取り込むため のMM及び「せんだいバス FREE+」等の割引制度につ いて計画どおり実施し、利用 者が増加した。 A  また、秋保地区の宿泊者数 が前年比で9.9%増加 (R6/R5)したことも、バス利 用者の増加を牽引したと考 えられる。	A  運行回数は計画通り、輸送 人員・運送収入ともに対前年 度比増加。 輸送人員:前年比111.0% 運送収入:前年比141.9%	・今後も自治体と連携した取 り組み等を継続し、収支等改 善とバス利用の促進を図る。 ・観光施策との連携(企画乗 車券の継続等)により、利用 者の増加を図る。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年 月 日

協議会名:	宮城県地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域公共交通確保維持事業
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>地域間幹線系統については、通学・通勤・通院等の地域経済活動に必要な移動手段として、重要な役割を果たしている。</p> <p>一方で、モータリゼーションの進展や人口減少等を背景に、利用者数の減少や運転士不足といった地域間幹線系統を取り巻く社会環境は増々厳しいものになっており、既にバス事業者の自助努力だけでは路線の維持が困難な状況にある。</p> <p>このため、地域間幹線系統を維持するためには、当事業における公的支援は必要不可欠であり、引き続き「まちづくり」という観点から事業者だけでなく沿線自治体と共に、他の広域交通や幹線系統に接続されるフィーダー交通等との連携を図りながら、サービス供給体制の安定化に向けて取組を推進していく必要がある。</p>

地域間幹線系統における生産性向上の取組調書(カルテ)

系統概要	系 統 名	起 点	経 由 地	終 点	補助対象事業者名 (株)ミヤコーバス			
	白石遠刈田	白石蔵王駅	永野	メルキユール宮城蔵王	効 果 目 標			
	沿 線 市 町 村				経常収益	経常費用	収支率	
	白石市、蔵王町				令和6年度実績	23,170,864	62,259,799	37.21%
	現 状				令和7年度目標			
蔵王高校や白石高校への通学が主な利用である。								

項目	生産性向上の取組		スケジュール		取組別 効果目標	実施状況	認定欄
	実施内容	実施主体	工 程	実施時期			
Dその他	①高校新入生に対するバス通学の周知 蔵王高校、白石高校、白石工業高校の新入生に配付	(株)ミヤコーバス 各高校 各沿線自治体	R7.3 新入生説明会において配付 継続して高校の登下校に合わせた時刻調整及び、通学生に対してバス利用の周知を図る。	R7.3		(実施) R7.3 各高校に配付	
A②路線再編	②JR、住民バス等とのダイヤ調整、広報 鉄道のダイヤ改正等に合わせ実施	(株)ミヤコーバス JR東日本 各沿線自治体	年度中 ダイヤ改正 ※必要に応じて実施	R7.9	増 収: 費用減:	(未実施) R7.3 JRダイヤ改正に合わせて改正要否を検討。改正要さず。	
A②路線再編	③運行便数・時刻の適正化	(株)ミヤコーバス 各沿線自治体	年度中 詳細の検討	R7.9	増 収: 費用減:	(未実施) R9年度開校の蔵王中学校の輸送に対応するための、運行の検討を継続してい	
Dその他	④運転免許自主返納者に対する割引の検討	(株)ミヤコーバス 各沿線自治体	年度中 割引内容、実施可否の検討	R7.9		(未実施) ※検討を継続	
Dその他	(追加)企画乗車券の販売継続	(株)ミヤコーバス 各沿線自治体	年度中 企画乗車券の実施	R7.9		(実施) インバウンド向け企画乗車券の継続実施 (TOHOKU HIGHWAY BUS TICKET)	
Dその他	(追加)一部便での交通系IC決済の導入	(株)ミヤコーバス	年度中 R7.10月から、土休日の蔵王刈田山頂へ延伸便に限ってICカード対応車を導入	R7.9		(実施) ※来年度も引き続き継続	

## 地域間幹線系統における生産性向上の取組調書(カルテ)

系統概要	系統名	起点	経由地	終点	補助対象事業者名 (株)ミヤコーバス			
	川崎	大河原駅前	村田営業所	川崎	効果目標			
	沿線市町村					経常収益	経常費用	収支率
	大河原町、村田町、川崎町				令和6年度実績	7,873,789	23,030,895	34.18%
	現 状				令和7年度目標			
村田高校や大河原商業高校、柴田農林川崎校への通学が主な利用である。								

項目	生産性向上の取組		スケジュール		取組別 効果目標	実施状況	認定欄
	実施内容	実施主体	工 程	実施時期			
Dその他	①高校新入生に対するバス通学の周知 村田高校、大河原産業高校、柴田農林高校 川崎校の新入生に配付	(株)ミヤコーバス 各高校 各沿線自治体	R7.3 新入生説明会において配付  継続して高校の登下校に合わせた時刻調整及び、通学生に対してバス利用の周知を図る。	R7.3		(実施) R7.3 各高校に配付、各高校への意見聴取を実施	
A②路線再編	②JR、住民バス等とのダイヤ調整、広報 鉄道のダイヤ改正等に合わせ実施	(株)ミヤコーバス JR東日本(株) 各沿線自治体	年度中 ダイヤ改正  ※必要に応じて実施	R7.9	増 収： 費用減：	(未実施) R7.3 JRダイヤ改正に合わせて改正要否を検討。改正要さずという判断。	
Dその他	③利用状況の分析	(株)ミヤコーバス 各沿線自治体	R7.8 県・交通事業者でデータ共有 R7.9～ 県でデータクレンジング作業	R7.9		(実施) R6.10の乗降データを用いた分析を実施中	
Dその他	④運転免許自主返納者に対する割引の検討	(株)ミヤコーバス 各沿線自治体	年度中 割引内容、実施可否の検討	R6.9		(未実施) ※検討を継続	

## 地域間幹線系統における生産性向上の取組調書(カルテ)

系統概要	系 統 名				補 助 対 象 事 業 者 名				
	川 崎				(株)ミヤコーバス				
	起 点		経 由 地		終 点		効 果 目 標		
	大河原駅前		沼 辺		村田営業所				
	沿 線 市 町 村				令 和 6 年 度 実 績		令 和 7 年 度 目 標		
大河原町、村田町				6,775,241		9,990,009		収支率 67.82%	
現 状				村田高校や大河原商業高校への通学が主な利用である。					

項目	生産性向上の取組		スケジュール		取組別 効果目標	実施状況	認定欄
	実施内容	実施主体	工 程	実施時期			
Dその他	①高校新入生に対するバス通学の周知 村田高校、大河原産業高校、柴田農林高校 川崎校の新入生に配付	(株)ミヤコーバス 各高校 各沿線自治体	R7.3 新入生説明会において配付  継続して高校の登下校に合わせた時刻調整及び、通学生に対してバス利用の周知を図る。	R7.3	/	(実施) R7.3 各高校に配付、各高校への意見聴取を実施	
A②路線再編	②JR、住民バス等とのダイヤ調整、広報 鉄道のダイヤ改正等に合わせ実施	(株)ミヤコーバス JR東日本(株) 各沿線自治体	年度中 ダイヤ改正  ※必要に応じて実施	R7.9	増 収： 費用減：	(未実施) R7.3 JRダイヤ改正に合わせて改正要否を検討。改正要さずという判断。	
Dその他	③利用状況の分析	(株)ミヤコーバス 各沿線自治体	R7.8 県・交通事業者でデータ共有 R7.9～ 県でデータクレンジング作業	R7.9	/	(実施) R6.10の乗降データを用いた分析を実施中	
Dその他	④運転免許自主返納者に対する割引の検討	(株)ミヤコーバス 各沿線自治体	年度中 割引内容、実施可否の検討	R6.9	/	(未実施) ※検討を継続	

## 地域間幹線系統における生産性向上の取組調書(カルテ)

系統概要	系 統 名				補助対象事業者名		(株)ミヤコーバス	
	利府				効果 目 標			
	沿 線 市 町 村				経 常 収 益		経 常 費 用	
	塩釜営業所 利府役場前利府高校前 しらかし台				令和6年度実績		31,576,323 46,735,066	
	塩竈市、利府町				令和7年度目標			
現 状								
利府高校、塩釜高校への通学のほか、JRの2つの路線と接続し、市町外への通勤、通学の利用も多い。								

項目	生産性向上の取組		スケジュール		取組別 効果目標	実施状況	認定欄
	実施内容	実施主体	工 程	実施時期			
Dその他	①高校新入生に対するバス通学の周知 利府高校の新入生に配付	(株)ミヤコーバス 利府高校 各沿線自治体	R7.3 新入生説明会において配付	R7.3		(実施) R7.3 高校に配付	
A②路線再編	②JR、住民バス等とのダイヤ調整、広報 鉄道のダイヤ改正等に合わせ実施	(株)ミヤコーバス JR東日本(株) 各沿線自治体	年度中 ダイヤ改正 ※必要に応じて実施	R7.9	増 収: 費用減:	(未実施) R7.3 JRダイヤ改正 に合わせて改正要否 を検討。改正要さず という判断。	
Dその他	③利用状況の分析	(株)ミヤコーバス 各沿線自治体	R7.8 県・交通事業者でデータ共有 R7.9～ 県でデータクレンジング作業	R7.9		(実施) R6.10の乗降データ を用いた分析を実施 中	
Dその他	④運転免許自主返納者に対する割引の検討	(株)ミヤコーバス 各沿線自治体	年度中 割引内容、実施可否の検討	R7.9		(一部実施) 利府町においてR7シル バーパス事業(70 歳以上へ割引チケット の配布)を実施	

## 地域間幹線系統における生産性向上の取組調書(カルテ)

系統概要	系統名	起点	経由地	終点	補助対象事業者名 (株)ミヤコーバス			
	ゴルフ場	マリゲート塩釜	ゴルフ場	千賀の台西	効果目標			
	沿線市町村					経常収益	経常費用	収支率
	塩竈市、利府町				令和6年度実績	6,343,749	11,193,754	56.67%
					令和7年度目標			
現 状								
塩釜市内の北部地域から中心部への住民の足である。								

項目	生産性向上の取組		スケジュール		取組別 効果目標	実施状況	認定欄
	実施内容	実施主体	工 程	実施時期			
A②路線再編	①JR、住民バス等とのダイヤ調整、広報 鉄道のダイヤ改正等に合わせ実施	(株)ミヤコーバス JR東日本(株) 各沿線自治体	年度中 ダイヤ改正 ※必要に応じて実施	R7.3	増 収: 費用減:	(実施) R7.3 JRダイヤ改正 に合わせて改正要否 を運送事業者で検 討。改正を行った。	
Dその他	②沿線イベント時のバス利用呼びかけ	(株)ミヤコーバス JR東日本(株) 各沿線自治体	年度中 イベント時周知活動の実施	R7.9		(実施) 「塩竈みなと祭」等の 開催時にバス利用を 呼びかけた。	
Dその他	③運転免許自主返納者に対する割引の検討	(株)ミヤコーバス 塩竈市	年度中 割引内容、実施可否の検討	R7.9		(一部実施) 利府町においてR7シ ルバーパス事業(70 歳以上へ割引チケッ トの配布)を実施	
Dその他	(追加)高校新入生に対するバス通学の周知	(株)ミヤコーバス 各沿線自治体 塩釜高校	R7.3 新入生説明会において配付	R7.3		(実施) R7.3 高校に配付	

## 地域間幹線系統における生産性向上の取組調書(カルテ)

系統概要	系 統 名	起 点	経 由 地	終 点	補 助 対 象 事 業 者 名 (株)ミヤコーバス			
	汐見台団地	多賀城駅前	大代	菖蒲田	効 果 目 標			
	沿 線 市 町 村					経 常 収 益	経 常 費 用	収 支 率
	多賀城市、七ヶ浜町				令和6年度実績	21,956,326	27,075,263	81.09%
	現 状				令和7年度目標			
JR仙石線多賀城駅から七ヶ浜町内の住宅地を繋ぐ幹線系統であり、仙台市中心部への通勤・通学の足として重要な役割を果たしている。								

項目	生産性向上の取組		スケジュール		取組別 効果目標	実施状況	認定欄
	実施内容	実施主体	工 程	実施時期			
A②路線再編	①JR、住民バス等とのダイヤ調整、広報 鉄道のダイヤ改正等に合わせ実施	(株)ミヤコーバス JR東日本(株) 各沿線自治体	年度中 ダイヤ改正 ※必要に応じて実施	R7.3	増 収: 費用減:	(実施) R7.3 JRダイヤ改正 に合わせて改正要否 を検討。改正を行っ た。	
Dその他	②沿線イベント時のバス利用呼びかけ	(株)ミヤコーバス JR東日本(株) 各沿線自治体	年度中 イベント時周知活動の実施	R7.9		(未実施) 沿線で実施される大 規模イベントが無 かったため。	
Dその他	③運転免許自主返納者に対する割引の検討	(株)ミヤコーバス 各沿線自治体	年度中 割引内容、実施可否の検討	R7.9		(未実施) 検討の結果、実施せ ず。	

## 地域間幹線系統における生産性向上の取組調書(カルテ)

系統概要	系 統 名	起 点	経 由 地	終 点	補助対象事業者名 (株)ミヤコーバス			
	吉岡	地下鉄泉中央駅	あけの平	道下	効 果 目 標			
	沿 線 市 町 村					経常収益	経常費用	収支率
	仙台市、富谷市、大和町				令和6年度実績	59,330,574	76,420,120	77.63%
					令和7年度目標			
現 状								
黒川高校への通学のほか、沿線の大病院への通院や、泉中央までの通勤・通学の利用が多い。								

項目	生産性向上の取組		スケジュール		取組別 効果目標	実施状況	認定欄
	実施内容	実施主体	工 程	実施時期			
Dその他	①高校新入生に対するバス通学の周知 黒川高校の新入生に配付	(株)ミヤコーバス 黒川高校 各沿線自治体	R7.3	新入生説明会において配付	R7.3	(実施) R7.3 高校に配付	
Dその他	②通学フリーパスの実施	宮城交通(株) (株)ミヤコーバス 各沿線自治体	年度中	せんだいバスFREE+の実施(仙台市) 大和町高等学校等通学応援事業(大和町)	R7.9	(実施) H28.4～ 大和町高等学校等通学応援事業の実施 R6.10～ せんだいバスFREE+の実施	
Dその他	③運転免許自主返納者に対する割引の検討	(株)ミヤコーバス 各沿線自治体	年度中	運転免許自主返納者を含めた高齢者の利用促進策の継続実施	R7.9	(実施) 仙台市、大和町における高齢者割引を継続実施	

## 地域間幹線系統における生産性向上の取組調書(カルテ)

系統概要	系 統 名				補助対象事業者名		(株)ミヤコーバス		
	色 麻				効 果 目 標				
	起 点		経 由 地		終 点				
	古川駅前		塚の目		色麻町役場		収支率		
	沿 線 市 町 村				令和6年度実績		令和7年度目標		
大崎市、色麻町、加美町				22,985,145		49,614,008		46.32%	
現 状									
古川黎明高校、中新田高校への通学が主な利用で、一部は通院の足として大崎市民病院を經由している。									

項目	生産性向上の取組		スケジュール		取組別 効果目標	実施状況	認定欄
	実施内容	実施主体	工 程	実施時期			
Dその他	①高校新入生に対するバス通学の周知 古川黎明中学・高校、古川高校、中新田高校 の新入生に配付	(株)ミヤコーバス 各高校 各沿線自治体	R7.3 新入生説明会において配付	R7.3		(実施) R7.3 高校に配付	
Dその他	②沿線イベント時のバス利用呼びかけ	(株)ミヤコーバス JR東日本(株) 各沿線自治体	年度中 イベントチラシで周知	R7.9		(実施) 「シャクヤクまつり」 開催時に色麻線と会 場を接続するシャト ルバス等の運行及 びバス利用を呼びか けた。	
Dその他	③運転免許自主返納者に対する割引の検討	(株)ミヤコーバス 各沿線自治体	年度中 運転免許自主返納者を含めた 高齢者の利用促進策の継 続実施	R7.9		(実施) 大崎市・加美町にお いて関連施策の継続 実施	
Dその他	(追加)通学フリーパスの実施	(株)ミヤコーバス 加美町	年度中 高校生等通学定期券購入 費補助金の実施	R7.9		(実施) R7.4～ 高校生等通 学定期券購入費補 助金を開始	

### 地域間幹線系統における生産性向上の取組調書(カルテ)

系統概要	系 統 名		起 点	経 由 地	終 点	補 助 対 象 事 業 者 名			(株)ミヤコーバス
	石巻免許センター		石巻駅前	石巻あゆみ野駅 イオンモール石巻	日赤病院	効 果 目 標			
	沿 線 市 町 村						経常収益	経常費用	収支率
	石巻市、東松島市					令和6年度実績	12,312,529	39,330,874	31.30%
						令和7年度目標			
現 状									
新市街地であるあゆみ野、のぞみ野を經由し、石巻駅、日赤病院間を結ぶ石巻市の骨格路線である。									

項目	生産性向上の取組		スケジュール		取組別 効果目標	実施状況	認定欄
	実施内容	実施主体	工 程	実施時期			
Dその他	①大学・高校の登下校時間とのダイヤ調整 検討	(株)ミヤコーバス 石巻専修大学 各高校 各沿線自治体	年度中 ダイヤ改正	R7.9	増 収: 費用減:	(未実施) ※検討を継続	
Dその他	②沿線イベント時のバス利用呼びかけ	(株)ミヤコーバス JR東日本(株) 石巻専修大学 各高校 各沿線自治体	年度中 イベントチラシで周知	R7.9	/	(実施) 通年(石巻市)公共交通 利用促進デーを実施	
Dその他	③運転免許自主返納者に対する割引の検討	(株)ミヤコーバス 各沿線自治体	R7.4 石巻市運転免許証返納者 バス助成を実施	R7.9	/	(実施) R7.4~ 石巻市で免 許返納者に対しバス 助成券を交付	

### 地域間幹線系統における生産性向上の取組調書(カルテ)

系統概要	系 統 名	起 点	経 由 地	終 点	補助対象事業者名	(株)ミヤコーバス		
	河南	石巻駅前	傘松	河南総合支所	効 果 目 標			
	沿 線 市 町 村					経常収益	経常費用	収支率
	石巻市				令和6年度実績	7,344,242	27,565,016	26.64%
					令和7年度目標			
現 状								
イオンモール石巻、県立支援学校を經由し、買い物や通学の足となっている。								

項目	生産性向上の取組		スケジュール		取組別 効果目標	実施状況	認定欄
	実施内容	実施主体	工 程	実施時期			
Dその他	①大学・高校の登下校時間とのダイヤ調整 検討	(株)ミヤコーバス 石巻専修大学 各高校 各沿線自治体	年度中 ダイヤ改正	R7.9	増 収： 費用減：	(未実施) ※検討を継続	
Dその他	②沿線イベント時のバス利用呼びかけ	(株)ミヤコーバス JR東日本(株) 石巻専修大学 各高校 各沿線自治体	年度中 イベントチラシで周知	R7.9	/	(実施) 通年 (石巻市)公共交通 利用促進デーを実施	
Dその他	③運転免許自主返納者に対する割引の検討	(株)ミヤコーバス 各沿線自治体	R7.4 石巻市運転免許証返納者 バス助成を実施	R7.9	/	(実施) R7.4～ 石巻市で免 許返納者に対しバス 助成券を交付	

### 地域間幹線系統における生産性向上の取組調書(カルテ)

系統概要	系 統 名	起 点	経 由 地	終 点	補助対象事業者名 (株)ミヤコーバス			
	石巻専修大学	石巻駅前	開北橋	飯野川	効 果 目 標			
	沿 線 市 町 村					経常収益	経常費用	収支率
	石巻市				令和6年度実績	8,508,489	26,067,307	32.64%
					令和7年度目標			
	現 状							
石巻専修大学を經由し、学生の通学の足となっている。								

項目	生産性向上の取組		スケジュール		取組別 効果目標	実施状況	認定欄
	実施内容	実施主体	工 程	実施時期			
Dその他	①大学・高校の登下校時間とのダイヤ調整 検討	(株)ミヤコーバス 石巻専修大学 各高校 各沿線自治体	年度中 ダイヤ改正	R7.9	増 収: 費用減:	(未実施) ※検討を継続	
Dその他	②沿線イベント時のバス利用呼びかけ	(株)ミヤコーバス JR東日本(株) 石巻専修大学 各高校 各沿線自治体	年度中 イベントチラシで周知	R7.9	/	(実施) 通年(石巻市)公共交通 利用促進デーを実施	
Dその他	③運転免許自主返納者に対する割引の検討	(株)ミヤコーバス 各沿線自治体	R7.4 石巻市運転免許証返納者 バス助成を実施	R7.9	/	(実施) R7.4～ 石巻市で免 許返納者に対しバス 助成券を交付	

### 地域間幹線系統における生産性向上の取組調書(カルテ)

系統概要	系統名				補助対象事業者名		(株)ミヤコーバス			
	河北				起点	経由地	終点	効果目標		
	沿線市町村				石巻あゆみ野駅	鹿又駅	飯野川	経常収益	経常費用	収支率
	石巻市				令和6年度実績		6,663,597	35,009,045	19.03%	
					令和7年度目標					
現 状										
各地区の住民バスの乗継拠点となっている上品の郷を経由し、各地区と中心市街地を結ぶ基幹交通の役割を有する。										

項目	生産性向上の取組		スケジュール		取組別 効果目標	実施状況	認定欄
	実施内容	実施主体	工 程	実施時期			
Dその他	①大学・高校の登下校時間とのダイヤ調整 検討	(株)ミヤコーバス 石巻専修大学 各高校 各沿線自治体	年度中 ダイヤ改正	R7.9	増 収: 費用減:	(未実施) ※検討を継続	
Dその他	②沿線イベント時のバス利用呼びかけ	(株)ミヤコーバス JR東日本(株) 石巻専修大学 各高校 各沿線自治体	年度中 イベントチラシで周知	R7.9	/	(実施) 通年(石巻市)公共交通 利用促進デーを実施	
Dその他	③運転免許自主返納者に対する割引の検討	(株)ミヤコーバス 各沿線自治体	R7.4 石巻市運転免許証返納者 バス助成を実施	R7.9	/	(実施) R7.4~ 石巻市で免 許返納者に対しバス 助成券を交付	

### 地域間幹線系統における生産性向上の取組調書(カルテ)

系統概要	系 統 名				補助対象事業者名		(株)ミヤコーバス			
	鮎川				起点	経由地	終点	効 果 目 標		
	沿 線 市 町 村				石巻駅前	筒場	鮎川港	経常収益	経常費用	収支率
	石巻市				令和6年度実績		8,558,124	56,567,085	15.12%	
					令和7年度目標					
現 状										
牡鹿半島と中心市街地を結ぶ広域的な生活路線で、観光の足としての側面も有する。										

項目	生産性向上の取組		スケジュール		取組別 効果目標	実施状況	認定欄
	実施内容	実施主体	工 程	実施時期			
Dその他	①大学・高校の登下校時間とのダイヤ調整 検討	(株)ミヤコーバス 石巻専修大学 各高校 各沿線自治体	年度中 ダイヤ改正	R7.9	増 収: 費用減:	(未実施) ※検討を継続	
Dその他	②沿線イベント時のバス利用呼びかけ	(株)ミヤコーバス JR東日本(株) 石巻専修大学 各高校 各沿線自治体	年度中 イベントチラシで周知	R7.9	/	(実施) 通年(石巻市)公共交通 利用促進デーを実施	
Dその他	③運転免許自主返納者に対する割引の検討	(株)ミヤコーバス 各沿線自治体	R7.4 石巻市運転免許証返納者 バス助成を実施	R7.9	/	(実施) R7.4～ 石巻市で免 許返納者に対しバス 助成券を交付	

### 地域間幹線系統における生産性向上の取組調書(カルテ)

系統概要	系 統 名	起 点	経 由 地	終 点	補助対象事業者名 (株)ミヤコーバス			
	女川	石巻駅前	筒場	女川運動公園	効 果 目 標			
	沿 線 市 町 村					経常収益	経常費用	収支率
	石巻市、女川町				令和6年度実績	8,953,792	23,139,458	38.69%
					令和7年度目標			
現 状								
女川町と石巻市を結ぶ唯一の路線で、女川町民の買い物や通院等の生活路線である。								

項目	生産性向上の取組		スケジュール		取組別 効果目標	実施状況	認定欄
	実施内容	実施主体	工 程	実施時期			
Dその他	①沿線イベント時のバス利用呼びかけ	(株)ミヤコーバス JR東日本(株) 各沿線自治体	年度中 イベントチラシで周知	R7.9		(実施) 通年(石巻市・女川町)公共交通利用促進デーを実施	
A②路線再編	②自治体との路線あり方協議	(株)ミヤコーバス 各沿線自治体	年度中 交通事業者ワーキングの実施 8月にワーキングを行った。	R7.9		(未実施) 継続協議となった。	
Dその他	③運転免許自主返納者に対する割引の検討	(株)ミヤコーバス 各沿線自治体	R7.4 石巻市運転免許証返納者 バス助成を実施	R7.9		(実施) R7.4～ 石巻市で免許返納者に対しバス助成券を交付	

### 地域間幹線系統における生産性向上の取組調書(カルテ)

系統概要	系 統 名	起 点	経 由 地	終 点	補助対象事業者名	(株)ミヤコーバス		
	蛇田	いしのまき元気いちば	蛇田	あゆみ野駅南	効 果 目 標			
	沿 線 市 町 村					経常収益	経常費用	収支率
	石巻市				令和6年度実績	8,943,064	29,820,908	29.98%
					令和7年度目標			
現 状								
沿線沿いの高校の通学利用と、復興団地の住民利用、及び大型商業施設への買い物利用に不可欠な路線である。								

項目	生産性向上の取組		スケジュール		取組別 効果目標	実施状況	認定欄
	実施内容	実施主体	工 程	実施時期			
Dその他	①大学・高校の登下校時間とのダイヤ調整 検討	(株)ミヤコーバス 石巻専修大学 各高校 各沿線自治体	年度中 ダイヤ改正	R7.9	増 収: 費用減:	(未実施) ※検討を継続	
Dその他	②沿線イベント時のバス利用呼びかけ	(株)ミヤコーバス JR東日本(株) 石巻専修大学 各高校 各沿線自治体	年度中 イベントチラシで周知	R7.9	/	(実施) 通年(石巻市)公共交通 利用促進デーを実施	
Dその他	③運転免許自主返納者に対する割引の検討	(株)ミヤコーバス 各沿線自治体	R7.4 石巻市運転免許証返納者 バス助成を実施	R7.9	/	(実施) R7.4~ 石巻市で免 許返納者に対しバス 助成券を交付	

## 地域間幹線系統における生産性向上の取組調書(カルテ)

系統概要	系 統 名	起 点	経 由 地	終 点	補助対象事業者名 (株)ミヤコーバス				
	御 崎	御 崎	津 本	気仙沼市民病院	効 果 目 標				
	沿 線 市 町 村					経常収益	経常費用	収支率	
	気仙沼市					令和6年度実績	15,170,876	45,325,543	33.47%
					令和7年度目標				
現 状									
唐桑半島から気仙沼市内を結ぶ唯一の路線である									

項目	生産性向上の取組		スケジュール		取組別 効果目標	実施状況	認定欄
	実施内容	実施主体	工 程	実施時期			
Dその他	①沿線イベント時のバス利用呼びかけ	(株)ミヤコーバス JR東日本(株) 気仙沼市	年度中 イベントチラシで周知	R7.9		(実施) ・宮城オルレHPでアクセス手段として広報	
A②路線再編	②自治体との路線あり方協議	(株)ミヤコーバス 気仙沼市	年度中 ※必要に応じて実施	R7.9	増 収: 費用減:	(未実施) ※検討を継続	
Dその他	③運転免許自主返納者に対する割引の検討	(株)ミヤコーバス 気仙沼市	年度中 割引内容、実施可否の検討	R7.9		(未実施) ※検討を継続	
Dその他	(追加) デマンド交通との連携	(株)ミヤコーバス 気仙沼市	年度中 オルレ起終点と御崎線の停留所を繋ぐ「唐桑地域デマンド交通」を運行することにより、観光利用の促進を図った。	R7.9		(実施) R6.10～ 唐桑地域デマンド交通の事前登録制を廃止し、観光客も利用可能とした。	

## 地域間幹線系統における生産性向上の取組調書(カルテ)

					補助対象事業者名	宮城交通(株)		
系統概要	系 統 名	起 点	経 由 地	終 点	効 果 目 標			
	秋保(川崎)	仙台駅前	茂庭	川崎		経常収益	経常費用	収支率
	沿 線 市 町 村				令和6年度実績	21,230,209	53,640,819	39.57%
	仙台市、川崎町				令和7年度目標			
	現 状							
鉄道の存在しない区間を走行する路線であり、仙台市への通勤・通学が主な利用である。								

項目	生産性向上の取組		スケジュール		取組別 効果目標	実施状況	認定欄
	実施内容	実施主体	工 程	実施時期			
A②路線再編	①住民バス等とのダイヤ調整、広報	宮城交通(株) 各沿線自治体	年度中 ダイヤ改正 ※必要に応じて実施	R7.9	増 収: 費用減:	(未実施) ※検討を継続	
Dその他	②沿線イベント時のバス利用呼びかけ	宮城交通(株) JR東日本(株) 各沿線自治体	年度中 イベントチラシで周知	R7.9		(実施) 「秋保・里センター」 でのイベント開催時 にバス利用を呼びか けした。	
Dその他	③通学フリーパスの実施	宮城交通(株) (株)ミヤコーバス 仙台市	年度中 割引内容、実施可否の検討	R7.9		(実施) ・仙台MaaSで「休日 一日乗車券」の販売 R6.10～ せんだいバ スFREE+の実施	

対象系統の輸送人員及び運送収入

			輸送人員（人）			運送収入（千円）		
			R5	R6	R7	R5	R6	R7
1	白石遠刈田線	白石蔵王駅～メルキュール宮城蔵王 対前年度比 対前々年度比	65,289	54,721	53,827 (▲1.6%) (▲17.6%)	22,496	22,934	25,918 (13.0%) (15.2%)
2	川崎線	大河原駅前～川崎 対前年度比 対前々年度比	28,434	23,428	19,500 (▲16.8%) (▲31.4%)	8,665	7,786	8,134 (4.5%) (▲6.1%)
3	川崎線	大河原駅前～村田営業所 対前年度比 対前々年度比	24,928	25,068	19,849 (▲20.8%) (▲20.4%)	6,517	6,737	7,826 (16.2%) (20.1%)
4	利府線	塩釜営業所～しらかし台 対前年度比 対前々年度比	149,761	153,685	140,425 (▲8.6%) (▲6.2%)	30,075	31,398	34,960 (11.3%) (16.2%)
5	ゴルフ場線	マリンゲート塩釜～千賀の台西 対前年度比 対前々年度比	30,967	31,781	30,992 (▲2.5%) (0.1%)	6,088	6,301	6,963 (10.5%) (14.4%)
6	汐見台団地線	多賀城駅前～菖蒲田 対前年度比 対前々年度比	80,768	87,683	83,604 (▲4.7%) (3.5%)	17,480	21,853	25,231 (15.5%) (44.3%)
7	吉岡線	泉中央駅～道下 対前年度比 対前々年度比	163,702	167,349	169,497 (1.3%) (3.5%)	56,799	59,039	73,147 (23.9%) (28.8%)
8	色麻線	古川駅前～色麻町役場 対前年度比 対前々年度比	62,542	60,731	63,501 (4.6%) (1.5%)	20,431	22,796	24,955 (9.5%) (22.1%)
9	石巻免許センター線	石巻駅前～日赤病院 対前年度比 対前々年度比	51,993	61,955	65,070 (5.0%) (25.2%)	11,619	12,163	14,531 (19.5%) (25.1%)
10	河南線	石巻駅前～河南総合支所 対前年度比 対前々年度比	23,420	28,460	27,251 (▲4.2%) (16.4%)	6,607	7,239	8,294 (14.6%) (25.5%)
11	石巻専修大線	石巻駅前～飯野川 対前年度比 対前々年度比	46,084	37,899	29,248 (▲22.8%) (▲36.5%)	9,069	8,409	10,116 (20.3%) (11.5%)
12	河北線	石巻あゆみ野駅～飯野川 対前年度比 対前々年度比	19,173	20,133	20,649 (2.6%) (7.7%)	6,241	6,530	7,842 (20.1%) (25.7%)
13	鮎川線	石巻駅前～鮎川港 対前年度比 対前々年度比	16,897	19,475	21,334 (9.5%) (26.3%)	7,862	8,342	9,865 (18.3%) (25.5%)
14	女川線	石巻駅前～女川運動公園 対前年度比 対前々年度比	26,510	25,327	24,313 (▲4.0%) (▲8.3%)	8,440	8,866	10,064 (13.5%) (19.2%)
15	蛇田線	石巻駅前～あゆみ野駅南 対前年度比 対前々年度比	32,851	35,229	36,709 (4.2%) (11.7%)	8,365	8,829	10,572 (19.7%) (26.4%)
16	御崎線	御崎～気仙沼市民病院 対前年度比 対前々年度比	40,930	37,629	24,500 (▲34.9%) (▲40.1%)	15,643	14,998	12,351 (▲17.6%) (▲21.0%)
17	秋保線	仙台駅前～川崎 対前年度比 対前々年度比	49,047	52,705	58,507 (11.0%) (19.3%)	17,418	19,409	27,543 (41.9%) (58.1%)
		ミヤコーバス	864,249	870,553	830,269	242,397	254,220	290,769
		宮城交通	49,047	52,705	58,507	17,418	19,409	27,543
		計	913,296	923,258	888,776	259,815	273,629	318,312